

研究タイトル：

近代インドネシア社会と産業



氏名： 赤崎 雄一 / AKASAKI Yuichi E-mail: akasaki@wakayama-nct.ac.jp

職名： 准教授 学位： 博士(文学)

所属学会・協会： 東南アジア学会、広島史学研究会

キーワード： インドネシア、東南アジア史

技術相談

提供可能技術：

・インドネシア社会

研究内容：

インドネシアにはオランダ植民地期から現代に至るまで「国民産業」として理解されている産業が2つある。クレテック(丁字入りたばこ)産業とパティック(ロウケツ染め)産業である。この2つの産業は主に国内市場向けの産業であるが、植民地期から現代にわたってインドネシア経済に多大な影響をもたらしてきた。

本研究の目的は、20世紀初め、2つの産業の萌芽期の歴史を明らかにすることである。

インドネシアの商業分野では植民地時代から一般的に華人が優勢であるとされるが、2つの産業では例外的に現地人が活躍したという特徴も持っていた。従って、これらの産業の歴史について明らかにすることは、インドネシア人資本家の成長を明らかにするということにもなる。また、第一次世界大戦期、世界恐慌期という不況の時代であっても多くの労働者を抱えていたという点も無視できない。この時期、地域社会の経済に不可欠な存在にまで成長していたのである。



提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	